
特別養護老人ホーム きらら藤枝
花ユニット研究テーマ
オムツ外しへの取り組み

メンバー
 副田 智穂
 宮上 みゆき
 鈴木 静香
 桑田 咲子
 久保 明日香

施設の紹介 ~きらら藤枝~

- ・平成18年10月24日開設
- ・藤枝市初の全室個室のユニット型特養
- ・入居70名ショートステイ20名
- ・デイサービスとケアプランセンター併設






施設の紹介



特養…愛風花森
星雲月



短期…磯海






K様の紹介




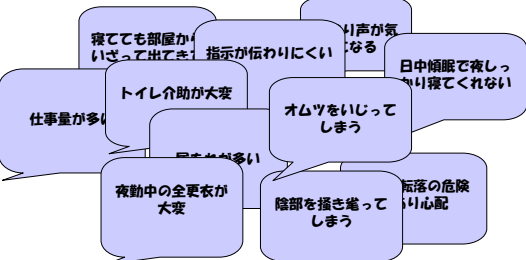
T15年10月22日
86歳の男性
要介護4

認知症
 脳出血
 直腸がん
 筋力低下

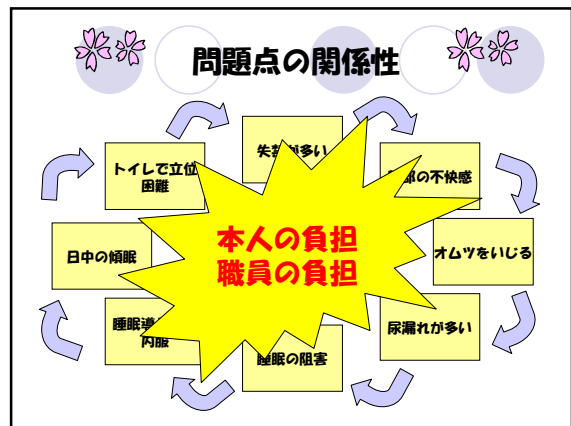
車椅子使用
 睡眠導入剤内服
 簡単な意思疎通可


取り組みのきっかけ


・職員の声を集めてみた



寝てても部屋がいざって出てき
 指示が伝わりにくい
 片手が気になる
 日中頻尿で夜しっ
 ぽり寝てくれない
 仕事量が多い
 トイレ介助が大変
 オムツをいじって
 しまう
 夜勤中の全更衣が
 大変
 陰部を掻き遣って
 しまう
 転落の危険
 あり心配





職員の意識



- ・オムツがADLの低下の原因になっているのではないか??
- ・入居者様の負担=職員の負担であるということユニットで再認識



- ・ユニット職員の中にオムツをやめようという意識の芽生え



オムツ外しに向けて



- ・施設内の排泄ケア研修に参加して排泄介助について知識や理解を深める。
- ・夜間の排尿のパターンを把握するため、K様だけ個別のチェック表を作成。
- ・家族へ専用の布パンツの購入を依頼。
- ・清潔の保持に努める。



施設内研修の様子



施設内研修の様子



施設内研修の様子



実際の取り組み



☆夜間の尿量・間隔を確認するために1時間毎にパット交換してみた



ほぼ毎時間排尿があり、こまめな交換が必要!!

		×	○	○	○	×	○	○	○	
		○	○	○	○	○	○	×	○	
		×	○	○	○	○	○	○	○	
		○	○	○	○	○	○	×	○	
19	20	21	22	23	0	1	2	3	4	5

- 就寝は19時頃
- ×はチェックしたが排尿なし
- 0時は職員休憩のため未確認

実際の取り組み

☆オムツをやめるために使用した下着

- ・通気性に優れている
- ・肌にフィットしてずれにくい



実際の取り組み

・今まで以上の清潔保持の為、下用タオルでの清拭から、失禁の時には必ず陰部洗浄の実施。



・清潔の保持だけでなく、必要以上の下用タオルの使用がなくなりコストの削減にも繋がった。

コストの削減

ユニットでの1日の失禁の平均回数が40回

$30 \times 10 = 300$ 円・・・1日

$300 \times 7 = 2100$ 円・・・1週間

$300 \times 30 = 9000$ 円・・・1ヶ月

$300 \times 365 = 109500$ 円・・・1年

清拭タオルの使用0に成功しました!

K様の状態の変化

- ・夜間の熟睡が増え始め、陰部を掻いたりパッドを弄ったりする行為も少なくなった。
 - ・現状を他職種と話し合い、睡眠導入剤の内服を中止とした。その結果、日中の覚醒状態が改善しトイレ誘導も容易になった。
 - ・覚醒状態の改善は排泄だけでなく生活全般に影響し、ADLの改善に繋がった。
- ※ただし、夜間帯にベッドからの転落事故も数件発生している。

職員の変化

・K様での成功で職員のモチベーションが上がり、ユニットの他の入居者様のオムツ外しにも繋がった。



その後紙パンツの入居者様2名とオムツの入居者様1名を布パンツへ変更しました。現在ユニットの入居者様10名全員布パンツ使用されています。

職員の変化

・K様の状態が改善し職員の負担・ストレスの軽減となった。

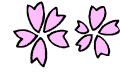
・研究発表という機会を通してバラバラだったユニットが同じ方向を向くことが出来た。



今後の課題



- ・定期的なパッドや時間の見直しを実施していく。
- ・オムツや紙パンツから布パンツにただで満足するのではなく、習慣的にトイレでの排泄が出来るよう取り組んでいく。
- ・今後もモチベーションを維持して業務に取り組んでいく。



ご清聴

ありがとうございました。

